

2021年1月5日 巣鴨図書館発行

1月の行事

2020年 巣鴨図書館 貸出ランキング



「一文イベント」も、「本の福袋」も、年末の風物詩になりました。今年も、多くの本と出会えますよう！

緊急事態宣言が発令されたことにもない、1月の行事はすべて中止になりました。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
						3
						4
						5
						6
						7
						8
						9
						10
						11
						12
31						
新刊						

一般書

- 1位：希望の糸 東野圭吾／著 講談社
- 2位：大家さんと僕 矢部太郎／著 新潮社
- 3位：そして、バトンは渡された
瀬尾まいこ／著 文藝春秋
- 4位：落日 湊かなえ／著 角川春樹事務所
- 5位：流浪の月 凧良ゆう／著 東京創元社
- 6位：むらさきのスカートの女
今村夏子／著 朝日新聞出版
- 7位：昨日がなければ明日もない
宮部みゆき／著 文藝春秋
- 8位：ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー
プレイディみかこ／著 新潮社
- 9位：愛なき世界
三浦しをん／著 中央公論新社
- 10位：平場の月 朝倉かすみ／著 光分社

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナの影響で、当たり前と思っていた日常について大きく変化を求められる年となりました。我慢続きの一年。その年を表す漢字としては、「密」「禍」「病」といったどちらかというマイナスのイメージのある字を選んだ人が多かったようです。
 さて、今年はどうな一年になるでしょう。「勝」（コロナに完全に打ち勝ちマスクを外せる世の中に）、「金」（東京オリンピック・パラリンピックで日本人選手のメダルラッシュ）、・・・。「明」とにかく明るい世の中になりますように。

(館長)



明けましておめでとうございます。
 「新しい日常」の中でできることを少しずつ、少しずつ...
 今年もよろしくお願いいたします。
 イラスト作 S

おはなし会について
 緊急事態宣言解除後の予定につきましては、決まり次第お伝えします。
 楽しみにして下さっていた方々
 申し訳ありません。

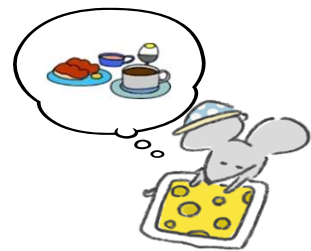
編集後記

2021年1月号は、ようやく？行事カレンダーを掲載することができました。今年、カウンターだけでなく、イベントでも多くの方にお目にかかれそうです！今年もどうぞよろしくお願いいたします。
 (M)

児童書(まんが以外)

- 1位：からすのパンやさん 2版
かこさとし／作・絵 偕成社
- 2位：こぎつねいちねんせい
斉藤洋／作 あかね書房
- 3位：キャベたまたんていかいとうセロリ
とうじょう 三田村信行／作
金の星社
- 4位：はれときどきぶた 矢玉四郎／作
岩崎書店
- 5位：宇宙探検大百科 学研プラス
- 6位：怪盗レッド 16 秋木真／作
KADOKAWA
- 7位：ジュニア空想科学読本
KADOKAWA
- 8位：こんとあき 林明子／さく 福音館書店
- 9位：ぼうけんはバスにのって
いとうみく／作 金の星社
- 10位：かいけつゾロリのおたから大きくせん
原ゆたか／さく ポプラ社

じぞうくんの食レポリレー



巣鴨図書館で働く人の食事情を本と絡めながら語り、リレー方式で紹介していくコーナーです。

<憧れの朝ごはん>

朝がとっても苦手な私。仕事の日はずいぶん起きていますが、休みになるとベッドからなかなか出られません。いつも休みの前の日は「明日の朝は早起きするぞ」と思うのですが、いざ寝て目が覚めると「休みなのに早起きするなんてもったいないじゃないか…」と二度寝してしまいます。朝時間を素敵に過ごせたら、きっとその日は充実した一日になるに違いないと思うのに、何でこんなにも起きられないのか…。

そんな私の朝食は、仕事の日には時間がなくて適当、休みになると二度寝して食べ逃すこともしばしばといった感じ。そのため、素敵な朝食への強い憧れがあります。おいしいコーヒーにこだわりのパン、手作りのジャム、フレンチトーストやパンケーキも素敵だし、納豆とお味噌汁の和朝食も捨てがたい。なんなら近所のカフェやベーカリーにモーニングを食べに行くなんていうのも優雅じゃない？と夢や妄想は膨らむばかり。

とりあえず某有名スーパーで話題になった期間限定ジャムを手に入れました。早起きするための準備は整った！ということで、次の休日は素敵な朝時間過ごせるかなー？(R)

テーマに合わせた図書館蔵書をご紹介します

お役立ち本

『朝ごはんBEST200—簡単!毎朝が楽しくなる!—』

柘出版社 (596 ア)

『プラス3分ですてきな朝食アイデア帳』

東京書店 (596 コ)

じぞうくんのそぼくな疑問



初めまして、ほくはじぞう。心につりゆくちょっとした疑問をここでつぶやいていくよ。

クリスマスに、香水が好きなお母さんへ、香水をプレゼントすることにしたじぞうくんとお父さん。全然詳しくない2人は、香水について調べることにしたみたいですよ。

香水のことなんて、僕も父も全然知らないし、いきなりデパートに行くのはハードルが高いよね、かといってネットショッピングで香水を買うのも不安だし。こういう趣味の本で、本屋さんにもいつもあるわけじゃないし、店頭で香水の本はほとんど見かけないなあ。男二人が女性雑誌のコーナーに行くのは勇気がいるよね。素直に母に欲しい香水を聞けばいいんだけど、サプライズにしたいよなあ…ってことで図書館に来たよ。

全然詳しくないから、まずは入門的なものを色々見てみよう。まずは①の本、いわゆる名品って感じの香水が載っていてわかりやすそうだね。②の本はカタログっぽくて良さそう…。今回は買い物が目的だから、カタログっぽいものもいいね。それ以外に使い方の本とか写真集っぽいものとか、成分分析などの専門書的なものなんかもある。この本に載っているものから、父と一緒にプレゼントに良さそうなのを選ぼうかな。全然知らないものを調べるとき、本屋さんでは売ってないようなマイナーな本も図書館にはあるから、ほんと便利だね。それじゃ、調査再開!またね～。

じぞうくんが読んだ本はこちら

①『香水ブランド物語 平田幸子/著』
学研 (576 ヒ)

②『香水図鑑』
マイナビ出版 (576 コ)

注: 上池袋図書館にあります!

じぞうさんぽ

<歴史探訪・若狭んぼ>

2014年5月某日。昼過ぎ、福井県のJR敦賀駅に到着。駅前の観光案内所でレンタサイクルを借りる。と思ったら、いきなり歩く羽目に。駅から北西に延びる大通りの両側には、沢山のモニュメントが置かれているのだが、その題材が『銀河鉄道999』と『宇宙戦艦ヤマト』なのだ。『鉄道と港のまち敦賀』のシンボルとして、1999年の敦賀開港100周年を記念して設置されたとか。これは見ざるを得ない。自転車を押し、まずは片道分(『999』16基)をじっくり鑑賞しつつ、通りの先にある越前一宮『氣比神宮』へと向かう。

参拝後、ようやく自転車に乗り、次の目的地『武田耕雲斎等墓』へ。国の史跡にも指定されているここは、知る人ぞ知る幕末の大事件、『天狗党の乱』終焉の地である。とは言っても私、別に幕末史マニアではない。これは、あくまでお墓参り。実は母方の先祖の一人が水戸藩士で、仲間と共に今もこの地に葬られているのだ。松林と石柵に囲まれた塚には、400名を超える藩士たちの名が刻まれた墓碑が静かに立ち並んでいる。お線香をあげ、ご先祖様たちの冥福を祈った。

「氣比の松原」は、墓所のすぐ近くにあった。日本三大松原と言われているだけあって、浜辺も松林も広大。近くの海辺には工場や灯台が建ち、沖を時折、白い船が通る。ただ、奥深い湾になっているためか、水平線がほとんど見えない。まるで山に囲まれた湖畔にいるかのよう。若狭の海は、美しくも不思議な光景だった。(A)

旅のお供におすすめの図書館蔵書をご紹介します

ともぼんお供本

『福井県の歴史散歩』
山川出版社 (291.0 レ)

『松本零士—零次元マンガの描き方—』
玄光社 (726 マ)